

タイ経済指標斜め読み

(2026 年 8 月版)

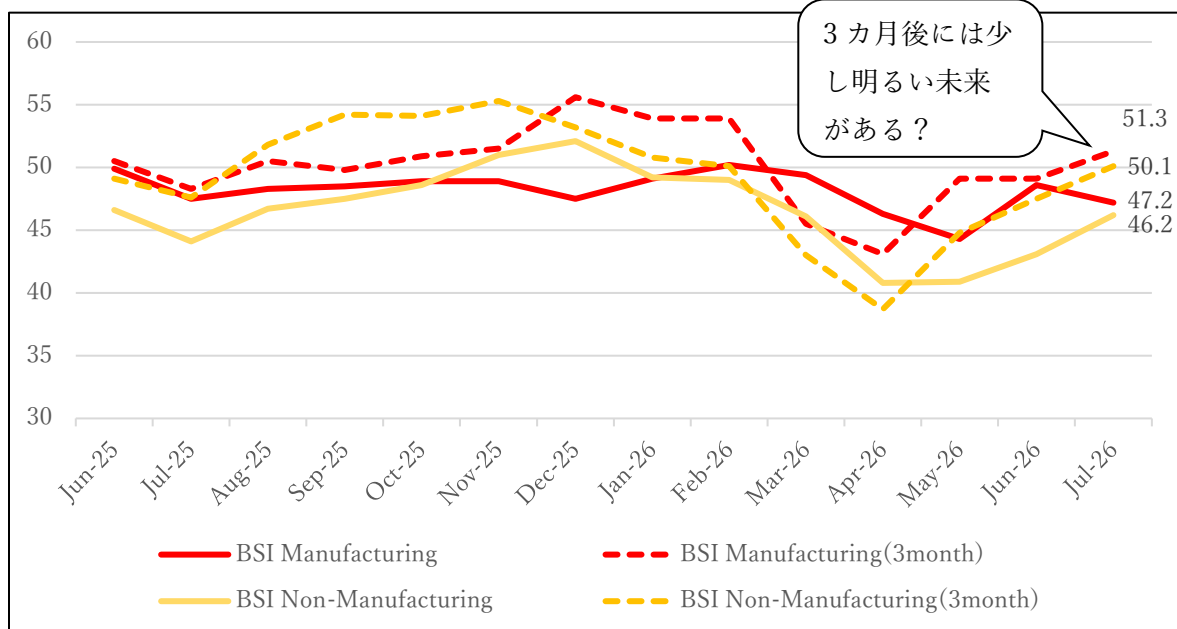
ビジネスサポート部

加藤義人

kato@mat.co.th

■No. 1 ■【指数データ】景況感指数

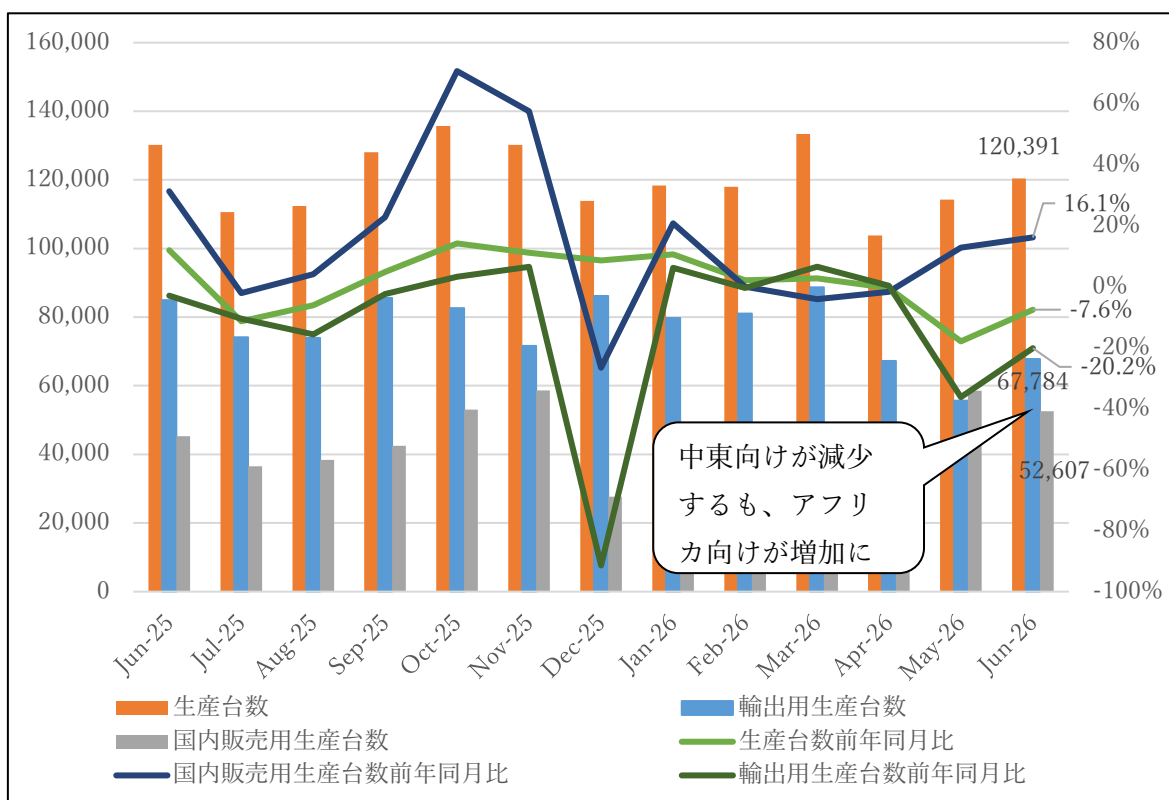
タイ中央銀行（BOT）は、7月のビジネス景況感指数を発表した。下グラフは、その構成要素である製造業と非製造業の指数と同3か月後の期待値となる。指数は50を境に先月比で良くなった、悪くなったと表示。



7月の製造業BSIは47.2、同3か月後の期待値は51.3、次に非製造業は46.2、同3か月後の期待値は50.1となった。製造業は前月から悪化した。要因として、米国の輸入関税が7月末から発行されることによる影響により、ICやセミコン、自動車輸出などの受注が抑えられていることが挙げられる。また、国内の自動車販売で主にピックアップトラックの販売台数が減少していると言う。とは言え、同3か月後の期待値は上昇に転じており、製造量が改善すると見られている。次に非製造業だが、2か月連続で改善している。要因として、原油価格の下落で輸送量が増加したことや、中東からの航空便が増加し、観光客数が増加、それに伴いホテルなどの観光施設の稼働率が増加したことが挙げられる。同3か月後の期待値でも観光客が引き続き増加し、サービス産業の小売業などの売上げ増が見込まれている。とは言え、まだ国内消費は改善しておらず、指数も50付近をさまよっている状況。

■No. 2■【統計データ】自動車生産台数

タイ工業連盟（FTI）は、6月の自動車生産台数（輸出、販売）を発表した。

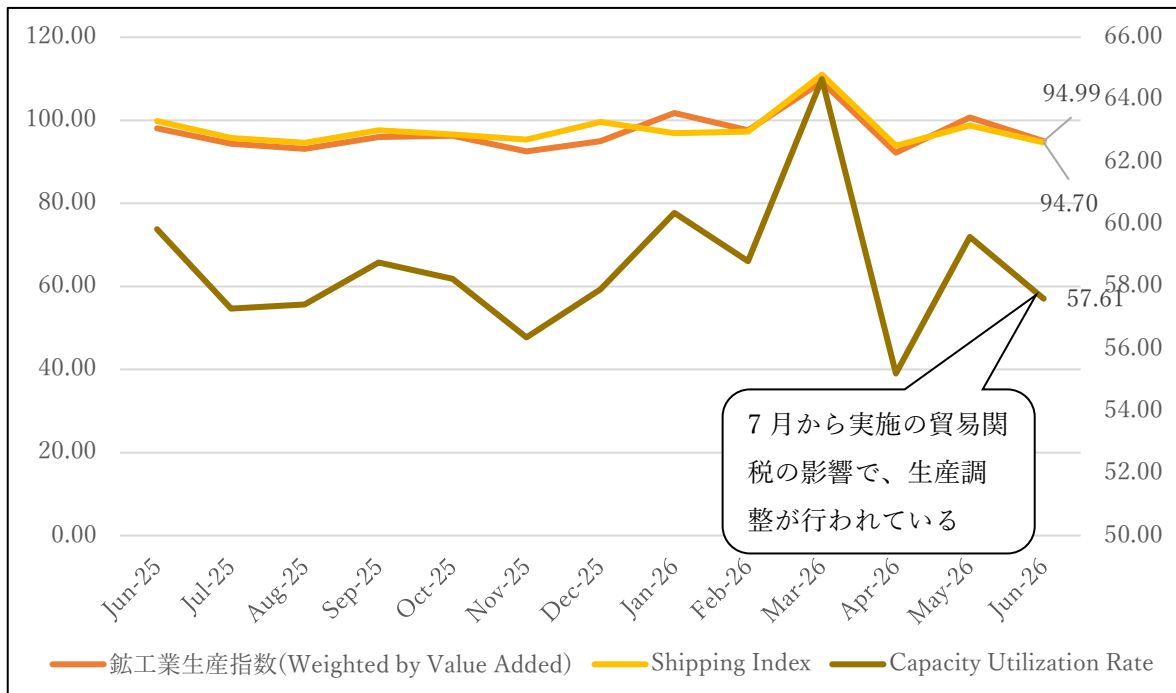


6月の自動車生産台数は120,391台、前年同月比－7.6%、輸出用自動車生産台数は67,784台、前年同月比－20.2%、国内販売用生産台数は52,607台、前年同月比＋16.1%となった。二カ月連続で増加となったが、前年同月比ではマイナスを記録。要因として、中東向けが落ち込んだことと、米国の輸入関税にて輸出台数を制限したことによるものと言う。一方、国内販売台数は前年同月比で増加した。要因として、HEVやEVが引き続き増加。一方、ピックアップトラックやエンジン車はマイナスとなった。最後にFTIは、2026年の自動車生産台数は1,450,000台とし、当初の1,500,000台から下方修正した。

出所：<https://fti.or.th/>

■No. 3■【指数データ】鋳工業生産指数

タイ商務省工業経済事務局（OIE）は、6月の鋳工業生産指数（付加価値基準、季節調整なし）、輸送指数、設備稼働率を発表した。（基準年:2021=100）



6月の工業生産指数は95、輸送指数は94.7、設備利用率は57.1%になり、前月から改悪となった。要因として、自動車関連の生産が減少している事と、7月に米国の関税政策の影響を懸念し、生産を抑制していると言われている。とは言え、電気電子の輸出は好調ではあるが、6月は依然原油価格が高騰し、原材料費や輸送コストが高止まりしていた時期であり、先行きが不透明であったことも確か。7月は欧州の猛暑により、エアコンの輸出が増加すると思われ、関連指数は上昇に向かうと思われる。

出所：<https://www.oie.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2026 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。